

七ヶ浜町

スポーツ（運動）に関するアンケート調査

報告書

令和5年6月

特定非営利活動法人アクアゆめクラブ

目 次

I.調査の概要	3
1.調査の目的	3
2.調査項目	3
3.調査設計	3
4.発送・回収の状況	4
5.アンケート集計結果及び分析	4
II.回答者の属性	5
III.調査結果の詳細	7
1.健康状態について	7
2.スポーツの実施状況について	9
3.今後について	14
IV.調査結果のまとめ	18
1.健康状態について	18
2. スポーツの実施状況について	18
3. 今後について	18

1. 調査の概要

1. 調査の目的

総合型地域スポーツクラブである NPO 法人アクアゆめクラブは、七ヶ浜町スポーツ振興計画に基づき、七ヶ浜町の運動実施率の向上を目指し、平成 17 年 4 月に設立しました。そこで、設立から 17 年を迎え、今後のスポーツ振興の在り方を探るべく、七ヶ浜町民の皆様のニーズを把握し、より地域とともに成長できる総合型クラブを運営できるようアンケート調査を実施致しました。

2. 調査項目

- (1) 基本的事項（性別・年代・居住地・職業）
- (2) 健康状態やスポーツ実施状況
- (3) 今後の展望

3. 調査設計

- (1) 調査地域 七ヶ浜町内全域
- (2) 調査対象 町内に在住する小学 1 年生以上
- (3) 母集団数 17,486 人
令和 4 年 4 月 1 日現在の人口 18,103 人
小学 1 年生以上の七ヶ浜町民 17,486 人（人口の 96.6%）

	男性	女性	合計	構成比率
小学校(6～11)	433	421	854	4.9%
中学校(12～14)	249	228	477	2.7%
高校生以上(15～19)	463	454	917	5.2%
20～29歳	767	675	1,442	8.2%
30～39歳	904	815	1,719	9.8%
40～49歳	1,250	1,191	2,441	14.0%
50～59歳	1,258	1,308	2,566	14.7%
60～69歳	1,536	1,446	2,982	17.1%
70歳～	1,805	2,283	4,088	23.4%
合計	8,665	8,821	17,486	100.0%
男女比	49.6%	50.4%	100%	

母集団数 小学 1 年生以上の七ヶ浜町民 17,486 人（人口の 96.6%）

(4) 標本数 2,000 人 (母集団の 11.4%)

	男性	女性	合計	構成比率
小学校(6～11)	243	237	480	24.0%
中学校(12～14)	47	43	90	4.5%
高校生以上(15～19)	40	40	80	4.0%
20～29歳	80	70	150	7.5%
30～39歳	132	118	250	12.5%
40～49歳	133	127	260	13.0%
50～59歳	98	102	200	10.0%
60～69歳	118	112	230	11.5%
70歳～	110	150	260	13.0%
合計	1,001	999	2,000	100.0%
男女比	50.1%	50.0%	100%	

標本数 2,000 人 (母集団の 11.4%)

(5) 抽出方法 無作為に抽出した小中学校の児童生徒及びその家族、町内保育所の園児の家族、七ヶ浜町スポーツ協会会員及びその家族、アクアゆめクラブ会員

(6) 調査方法 調査票調査 (指定回収)
亦楽小・松ヶ浜小・汐見小の全学年1クラス
七ヶ浜中1・3学年の1クラス、向洋中2学年の1クラス
遠山保育所

(7) 調査期間 令和4年(2022年)10月4日～10月30日

4. 発送・回収の状況

- (1) 調査対象者数 2,071 人
- (2) 回収件数 (率) 1,408 人 (68.0%)
- (3) 有効回収件数 (率) 1,408 人 (68.0%)

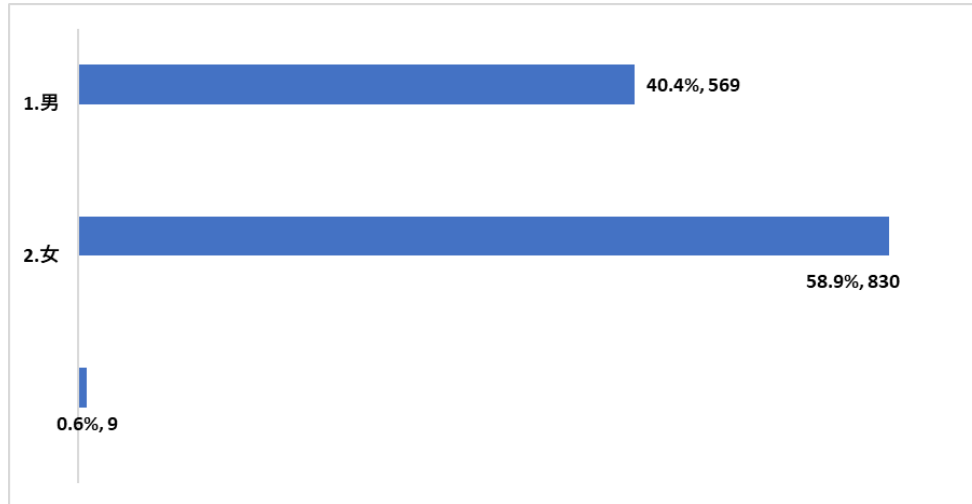
5. アンケート集計結果及び分析

アンケート集計・分析 令和4年11月1日～令和5年5月

II.回答者の属性

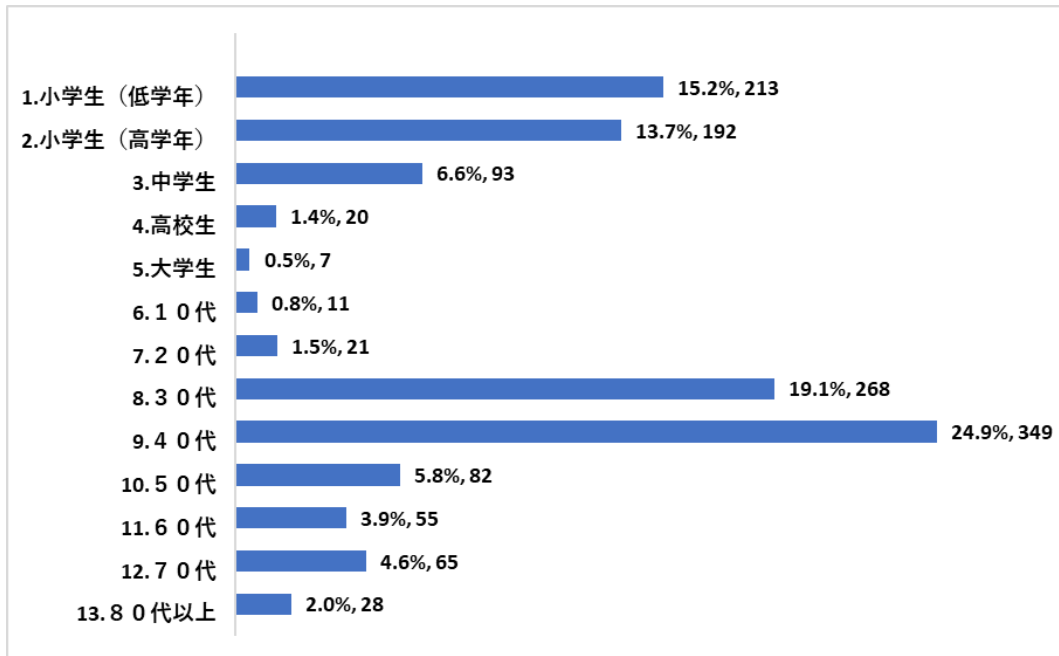
本調査の回答者（集計対象者）1,408人の基本属性は、次の通りである。

（1）性別



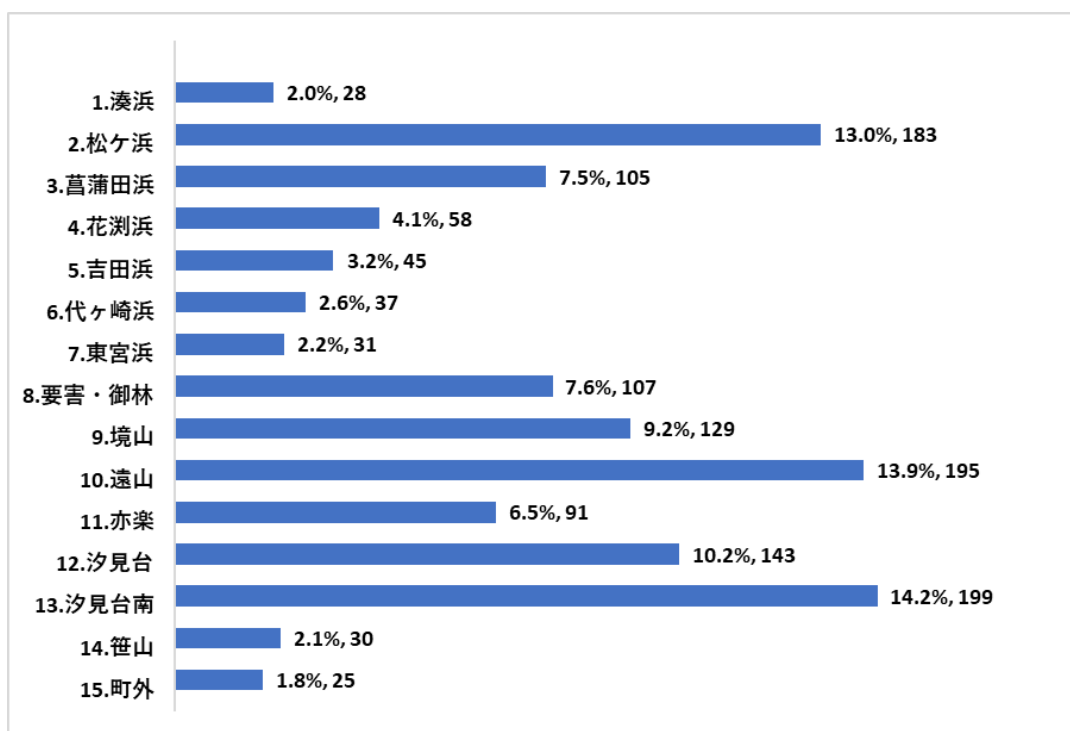
全体の回答者の性別は、「男性」が569人、「女性」が830人となっており、「女性」が「男性」を261人上回っている。

（2）年代



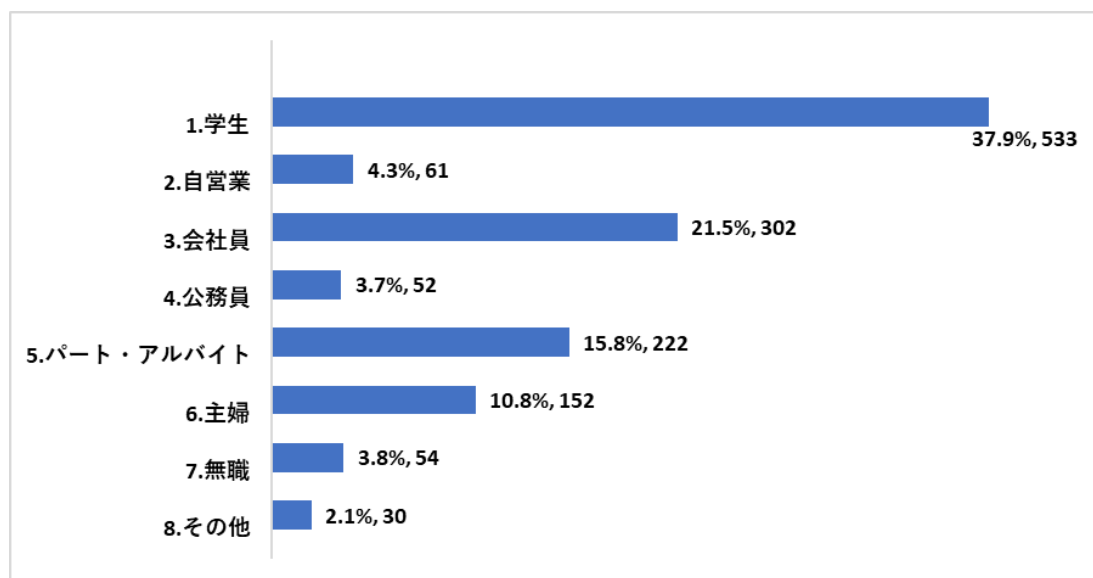
回答者の年代は、「40代」が24.9%で最も多く、次いで「30代」19.1%、「小学生（低学年）」15.2%、「小学生（高学年）」13.7%と続き、保育所、小学校、中学校の教育機関を通してアンケートを配布したため、このような結果となった。

(3) 居住地区



回答者の居住地区は、「汐見台南」「遠山」「松ヶ浜」が高い割合となった。また、小中学校へアンケートをお願いした結果、全地区から回答を得ることができた。

(4) 職業

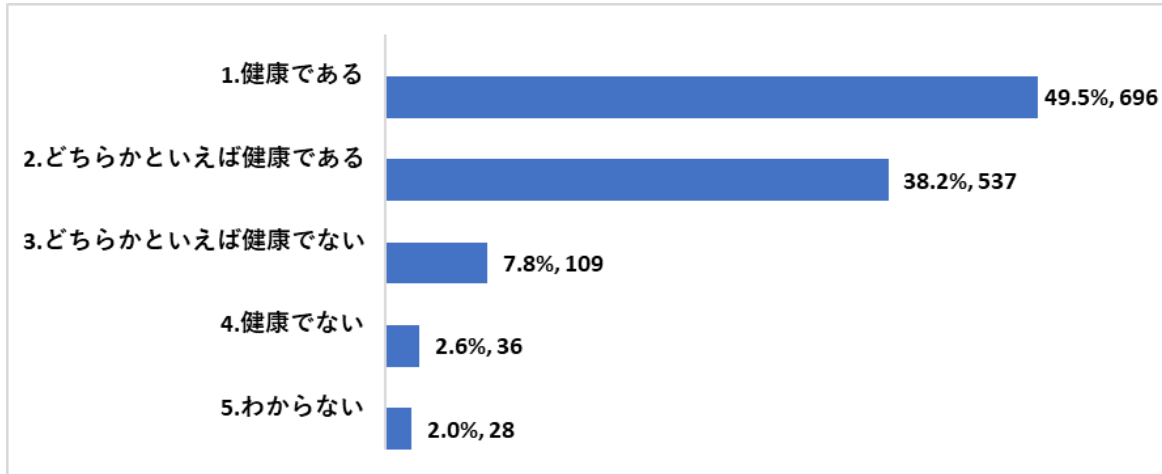


回答者の職業は「学生」が37.9%と最も多く、次いで「会社員」21.5%、「パート・アルバイト」15.8%、「主婦」10.8%などとなっている。

III.調査結果の詳細

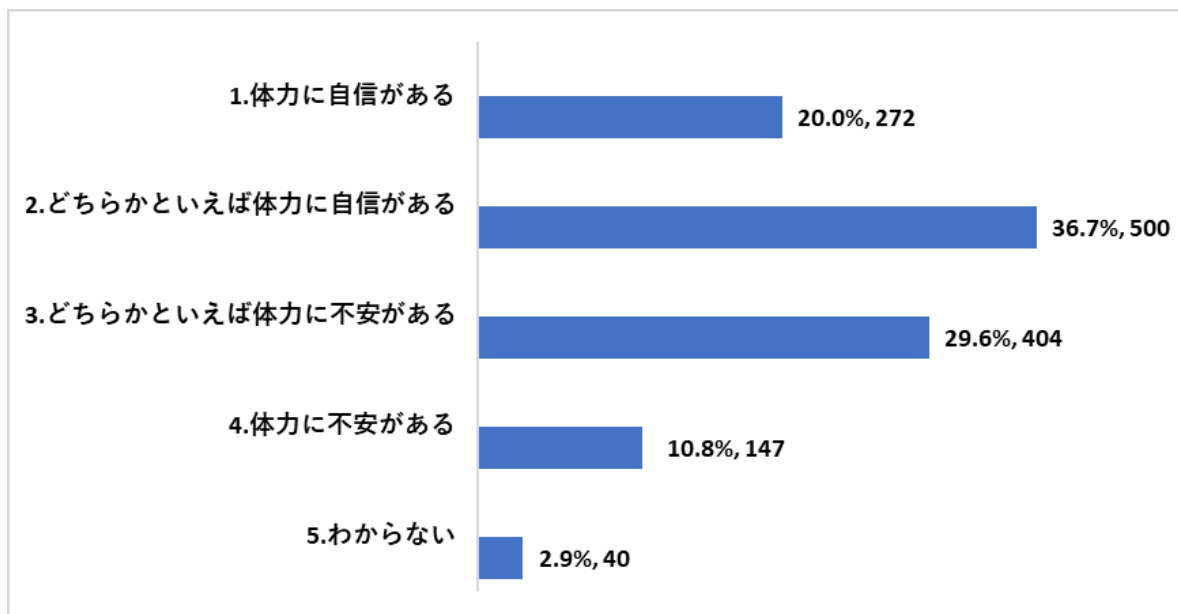
1. 健康状態について

Q.あなたは現在、健康だと思いますか。



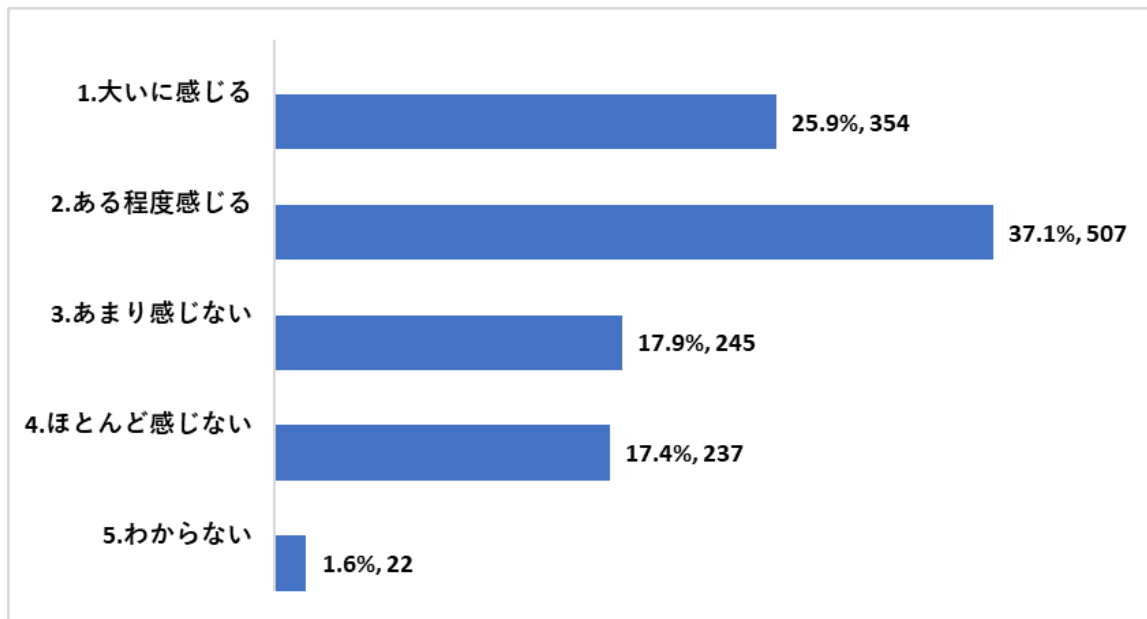
現在の健康状態は「健康である」「どちらかといえば健康である」を合わせると87.7%であることから、自身では健康であると認識している方がとても多い。また「どちらかといえば健康でない」(7.8%)「健康でない」(2.6%)と続いている。

Q.あなたはご自身の体力についてどのように感じていますか。



体力については「自信がある」「どちらかといえば体力に自信がある」を合わせると56.7%であった。また、「どちらかといえば体力に不安がある」「不安がある」を合わせると(40.4%)で、体力に自信が無い方が40%を占めた。

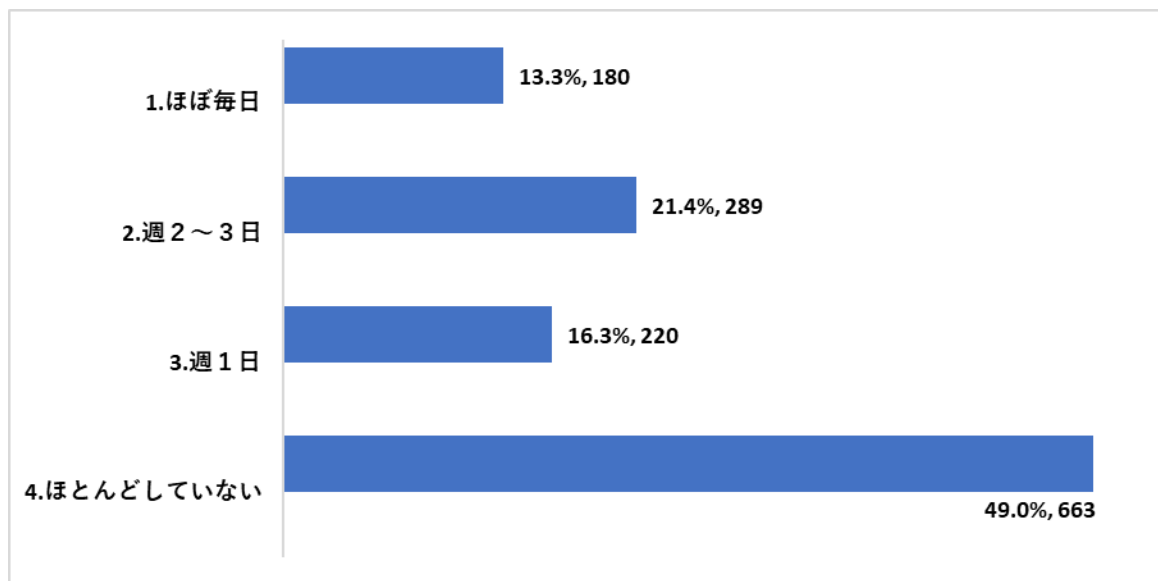
Q.あなたは普段運動不足を感じますか。



運動不足を「大いに感じる」「ある程度感じる」を合わせると 63%となり、半数以上の方が運動不足を感じている。

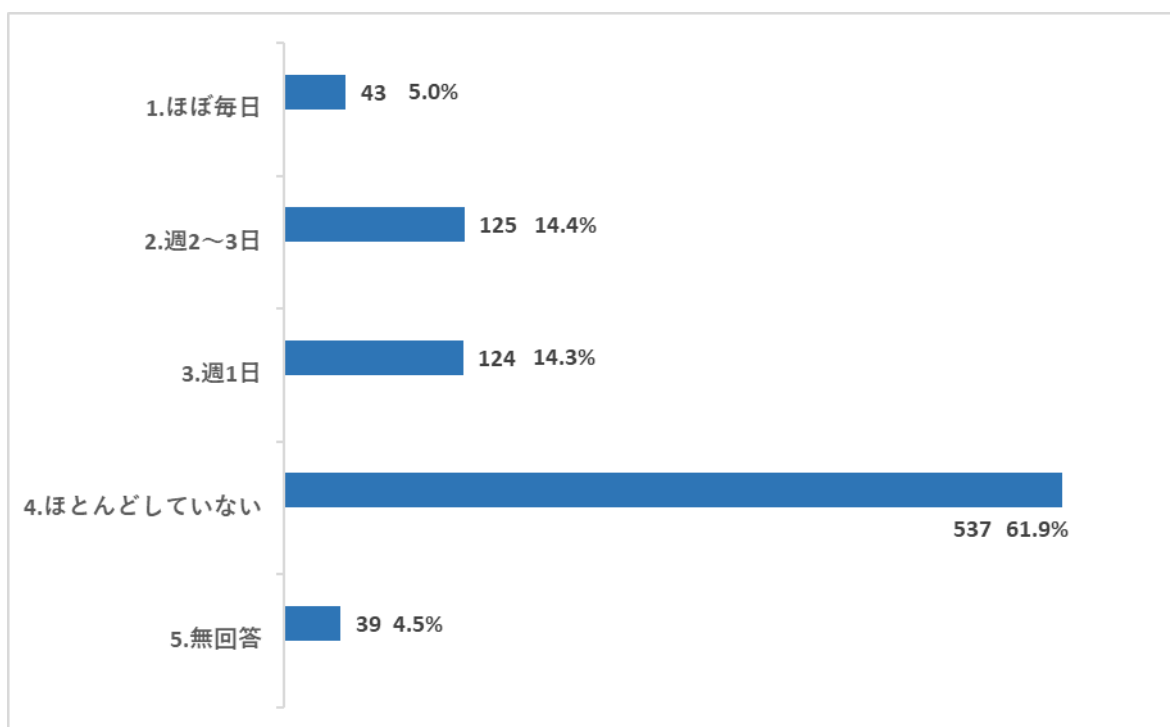
2. スポーツの実施状況について

Q.あなたは週どのくらいスポーツを実施していますか。また、そのスポーツは何ですか。



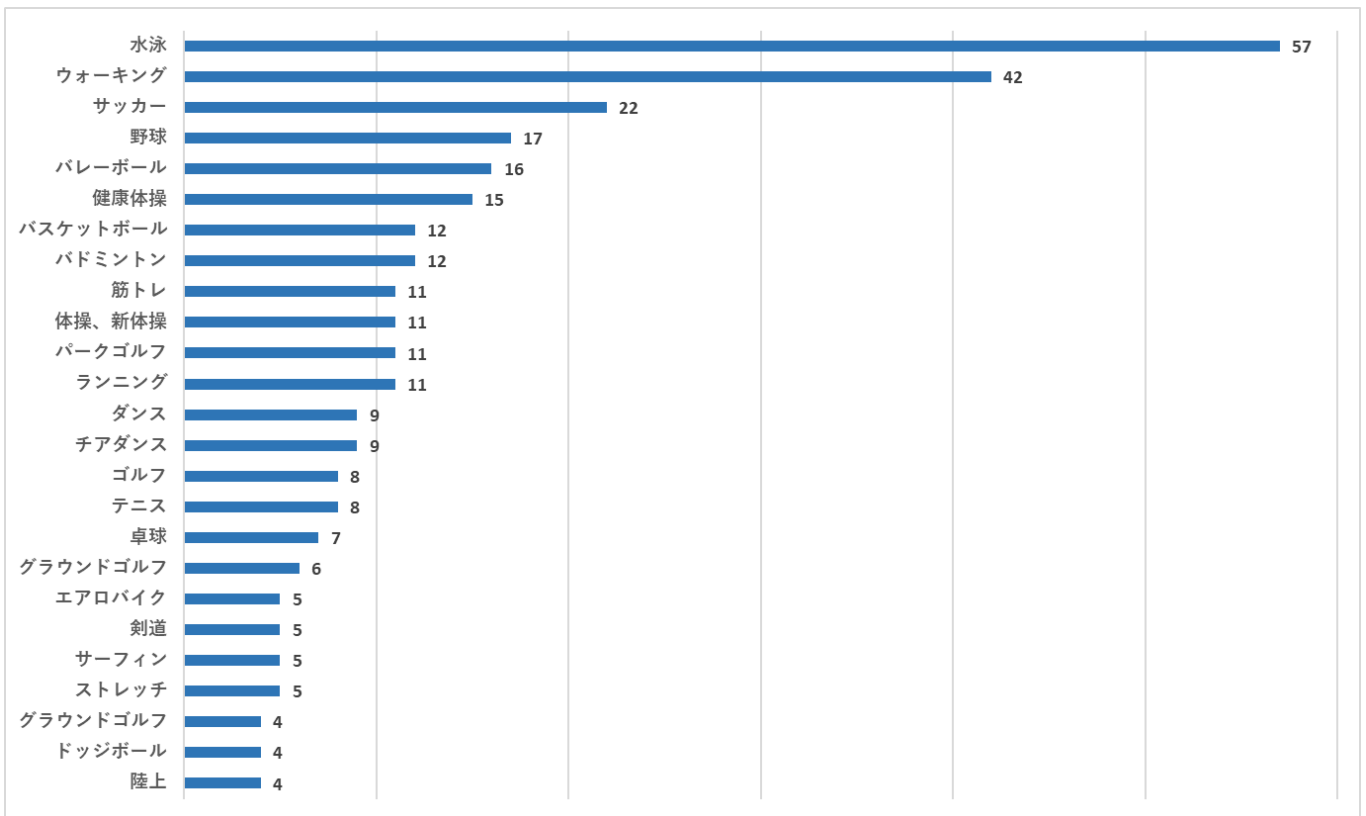
週1日以上、スポーツをしているのは51.0%であった。中でもほぼ毎日実施している人は16.3%となった。

成人（20代以上）のスポーツ実施率



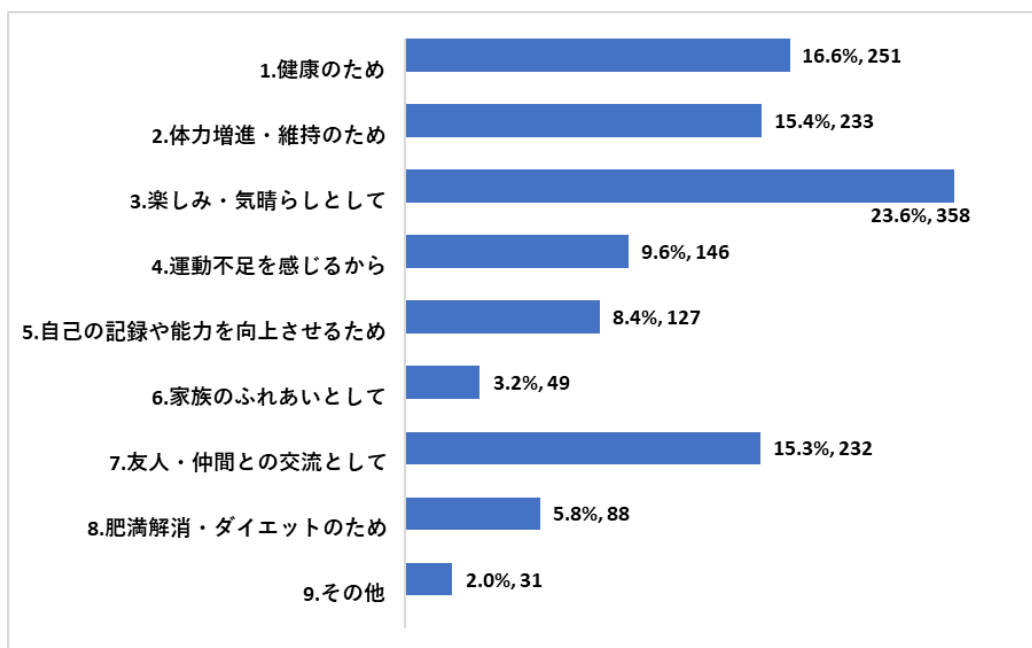
上記から成人だけを抽出してみると、週1日以上、スポーツをしているのは33.7%であった。

Q.実施しているスポーツ



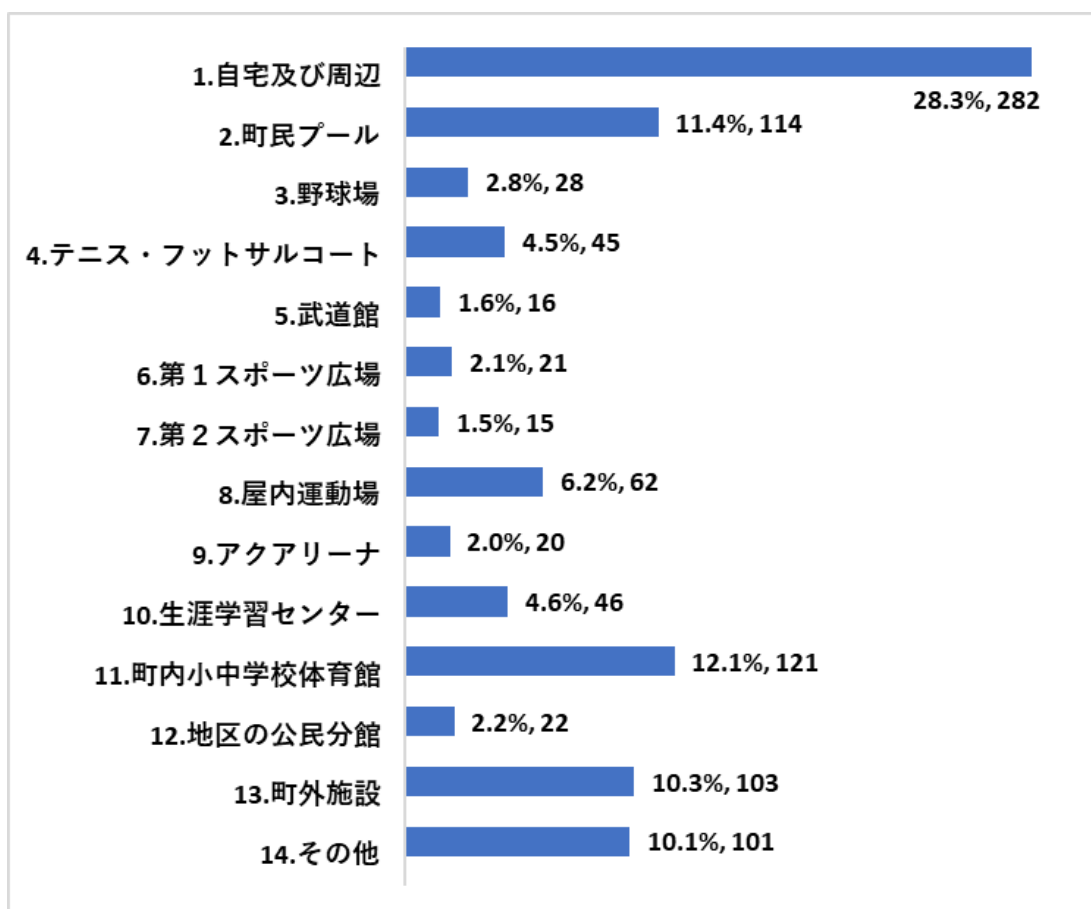
普段実施しているスポーツで、最も多かったのは「水泳」で、次に「ウォーキング」、「サッカー」、「野球」と続いた。一人で実施できる「ウォーキング」や「筋トレ」、「ランニング」なども多い傾向。

Q.あなたがそのスポーツを実施したのはどのような理由からですか。(複数回答可)



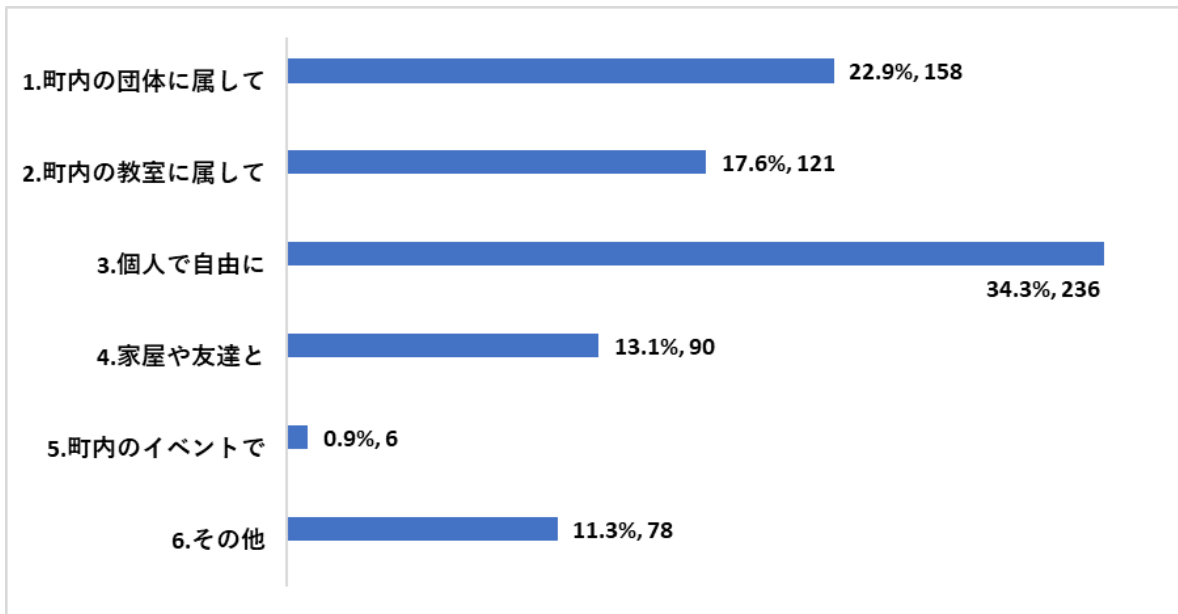
スポーツを実施した理由で多かったのは、「楽しみ・気晴らしとして」23.6%、「友人・仲間との交流として」15.3%であった。合わせて38.9%となり、楽しむことを目的にスポーツを実施している人が多い。また「健康のため」16.6%、「体力増進・維持のため」15.4%と、合わせて32.0%となり自身の健康状態を気にしてスポーツに取り組む人も多かった。

Q.あなたがスポーツをする場所が多いのはどこですか（複数回答可）



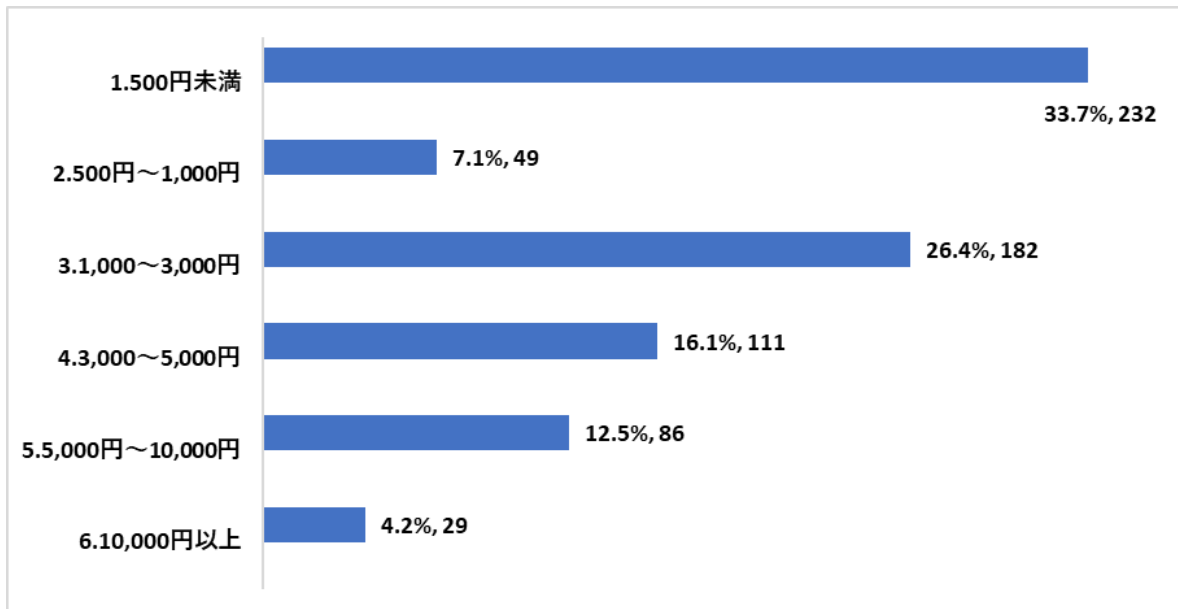
「自宅及び周辺」28.3%、次いで「町内小中学校体育館」12.1%、「町民プール」11.4%、「町外施設」10.3%と続いた。町内のスポーツ施設（町民プール、野球場、屋内運動場、アクアリーナ等）を合わせると、32.1%となった。

Q.どのような形でスポーツを実施しましたか。



「個人で自由に」34.3%、「町内の団体に属して」22.9%、「町内の教室に属して」17.6%と続いた。教室や団体に活動する方が多い一方で、個人で好きな時間にスポーツを実施する人も比較的多い傾向にある。

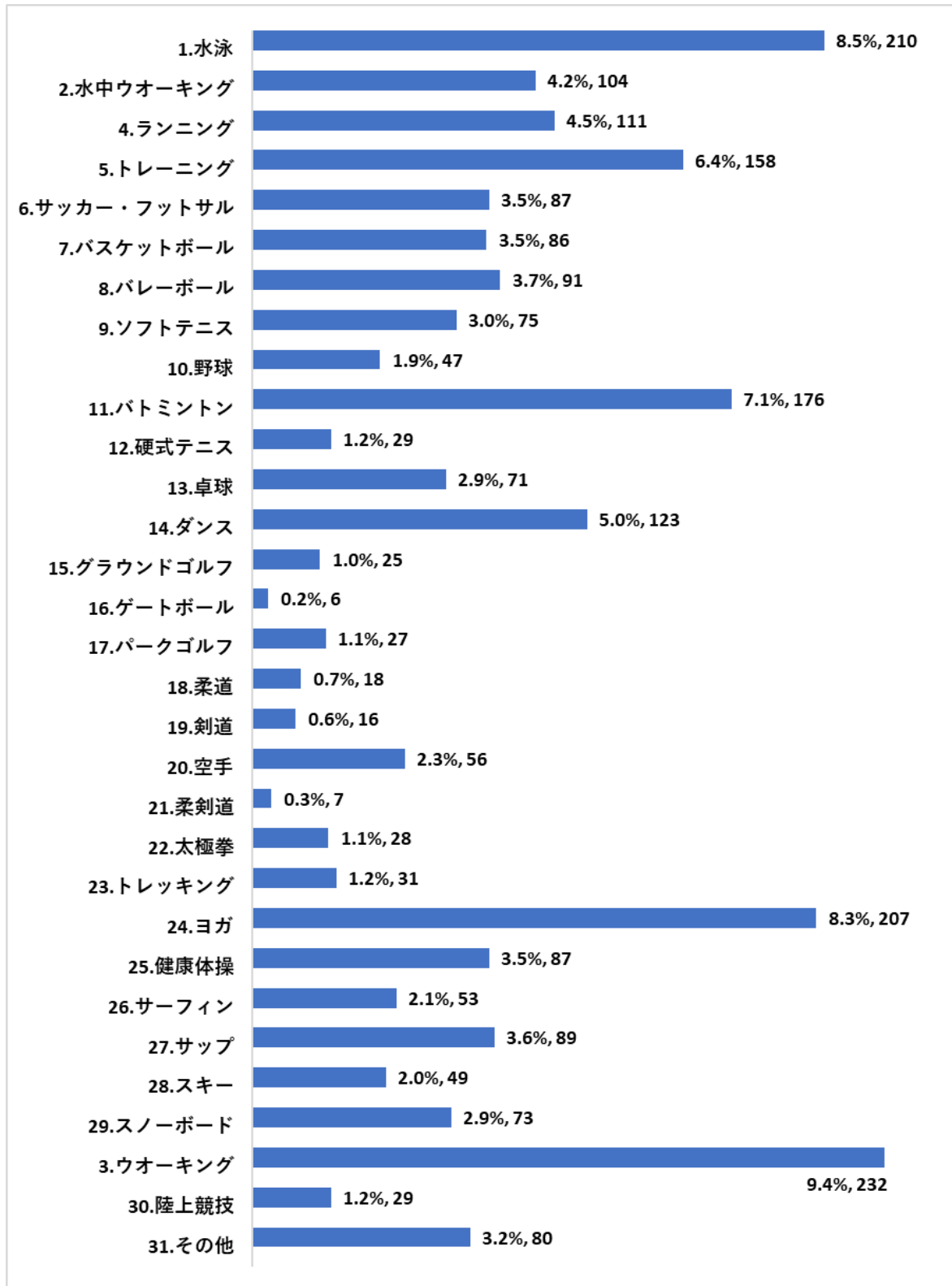
Q.あなたはスポーツのために月どれぐらい費用をかけていますか。



「500円未満」33.7%、「1,000円～3,000円」26.4%、「3,000円～5,000円」16.1%となった。「500円未満」とお金をかけないで、スポーツを実施している方が多く、また比較的安価でスポーツを実施している傾向にある。

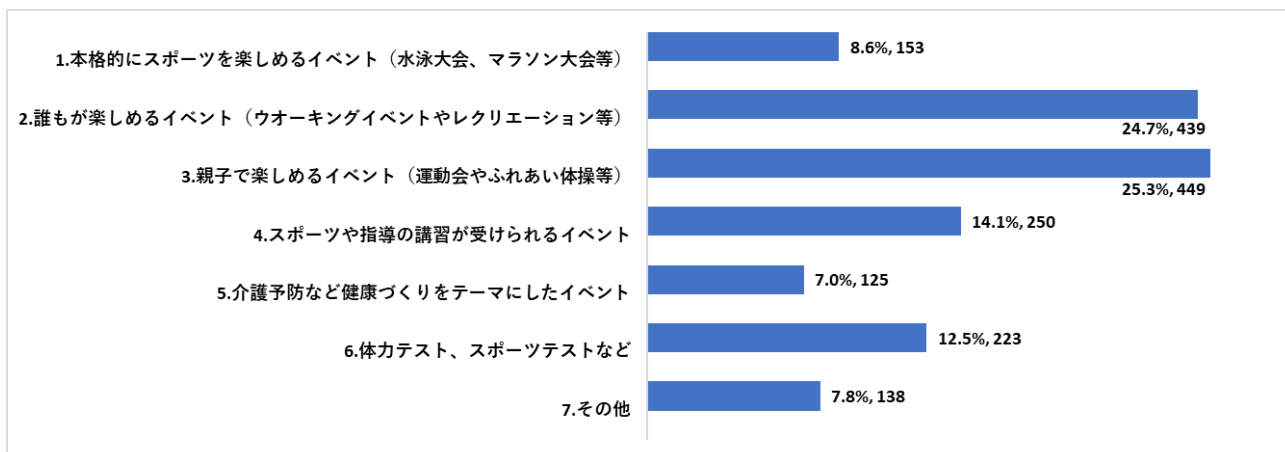
3. 今後について

Q.あなたが今後始めてみたいスポーツはありますか。(複数回答可)



今後始めてみたいスポーツとして「ウォーキング」が9.4%、次いで「水泳」が8.5%、「ヨガ」8.3%、「バドミントン」7.1%、「トレーニング」6.4%、「ダンス」5.0%で上位を占めた。

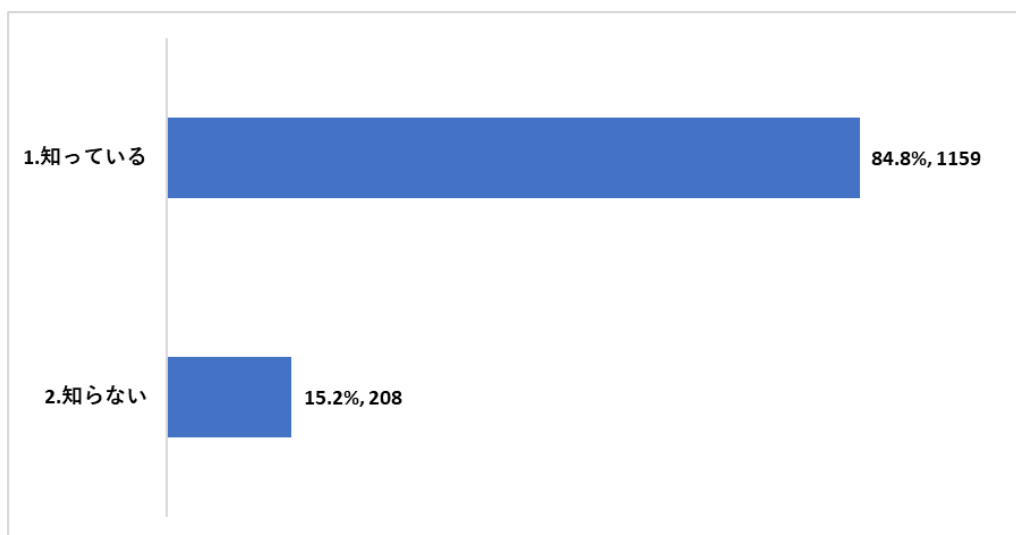
Q.あなたが今後参加してみたいスポーツイベントはありますか。(複数回答可)



「親子で楽しめるイベント」が25.3%で最も多く、「誰もが楽しめるイベント」が24.7%となり、半数が、気軽に参加できるスポーツイベントに参加してみたいと回答している。一方で、「スポーツの指導や講習が受けられるイベント」14.1%や「体力テスト、スポーツテストなど」12.5%など、本格的な指導を受けたり、自身の体力について知りたい人も比較的多かった。

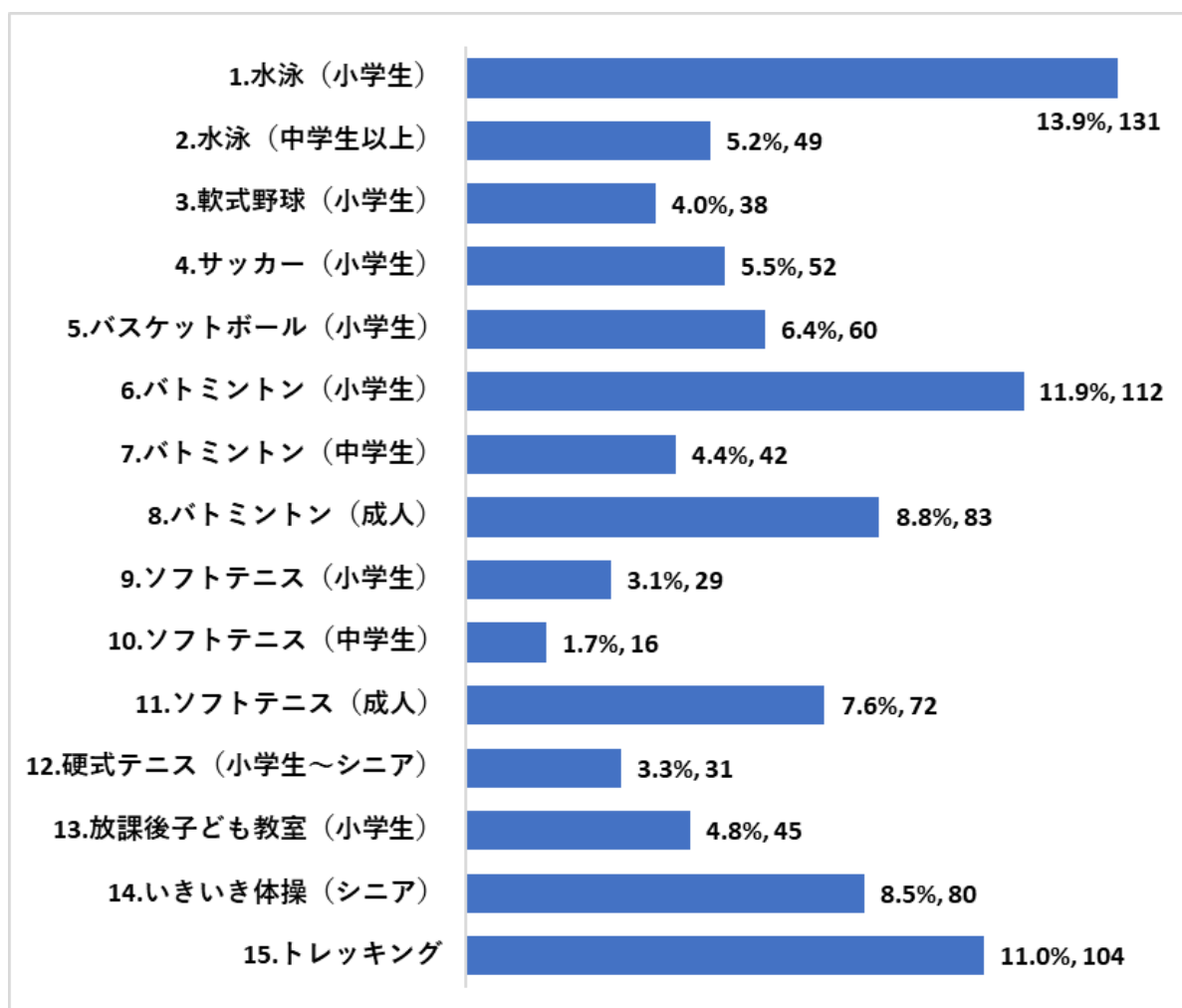
「その他」の意見として、成人に特化したイベントや託児付きのイベントを望む声もあった。

Q.総合型地域スポーツクラブである町内のアクアゆめクラブを知っていますか。



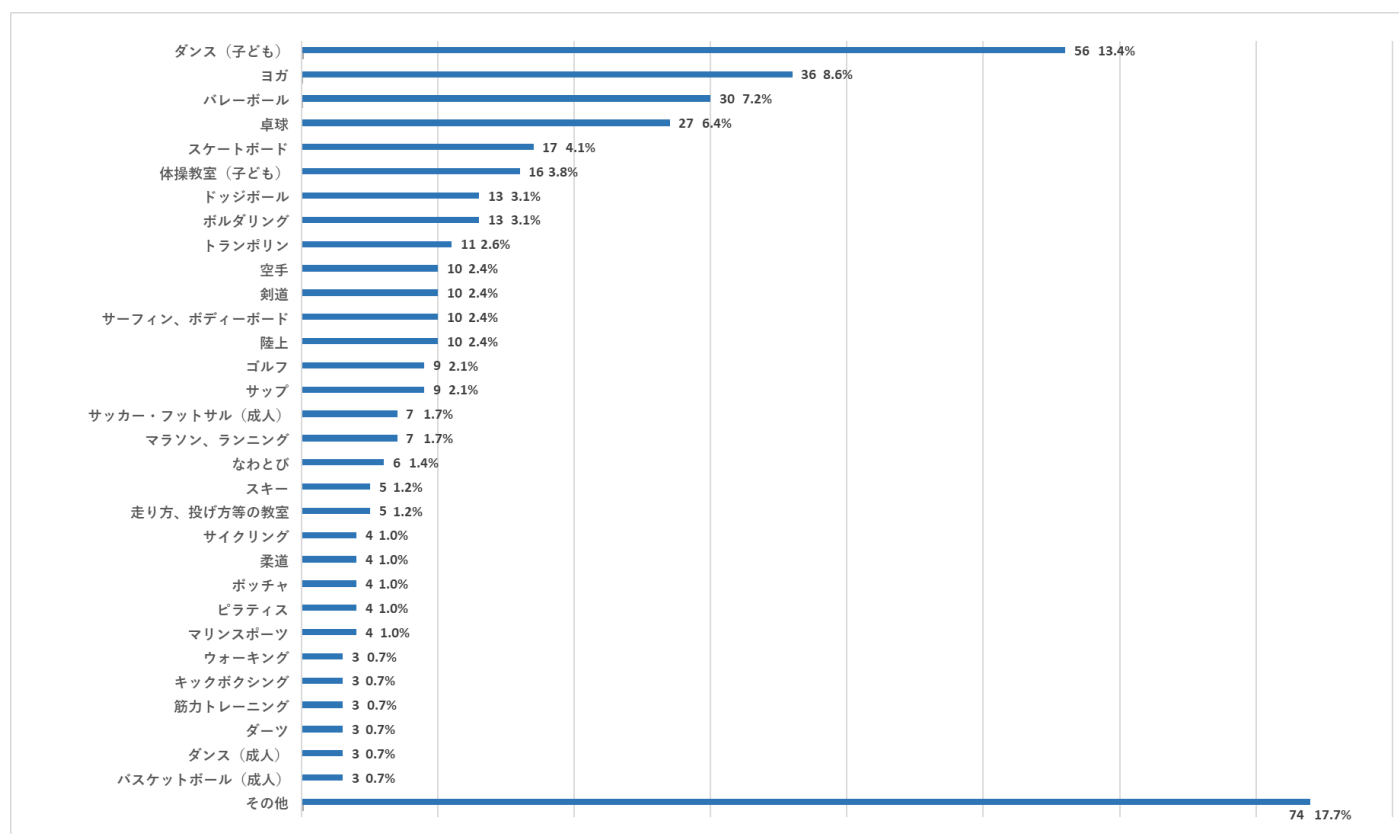
「知っている」が84.8%で知名度が非常に高くなっている。小・中学校への教室案内やスポーツイベントでのチラシの全戸配布、また当クラブのホームページのリニューアル、SNS (インスタグラム等)での情報発信が認知度アップに繋がったと考えられる。

Q.アクアゆめクラブのスポーツ教室で参加してみたいものはありますか。(複数回答可)



「水泳 (小学生)」が13.9%で最も高く、次いで「バドミントン (小学生)」11.9%、「トレッキング」11.0%、「バドミントン (成人)」8.8%、「いきいき体操 (シニア)」8.5%という結果になった。実際に、子ども対象の水泳教室「スイミーキッズ」と小学生対象の「エンジョイバドミントンキッズ」の人気は高い。また、成人対象の「トレッキング」、シニア対象の「いきいき体操」も同じく、参加している人が多い。

Q.アクアゆめクラブの教室にあったらいいなと思うスポーツはありますか。(自由記述)



「ダンス (子ども)」(13.4%)、続いて「ヨガ」(8.6%)、「バレーボール」(7.2%)、「卓球」(6.4%)、「スケートボード」(4.1%)が上位を占めた。「その他」少数意見として、武道系(弓道、格闘技)やマリンスポーツ(シーカヤック、ビーチバレー)、今話題のスポーツ(パルクール、ジップライン)、他にeスポーツの声もあり、種目は多岐にわたっている。また、スポーツ以外では料理や絵画教室を望む声もあった。

IV.調査結果のまとめ

1. 健康状態について

七ヶ浜町民は、「健康である」「どちらかといえば健康である」と回答した方が 87.7%で「健康」と感じている割合がとても高い。「体力」については「どちらかといえば体力に不安がある」「不安がある」と回答した方が 40.4%となった。普段の運動については、運動不足を「大いに感じる」「ある程度感じる」と回答した方が 63%に上った。

この調査から、町民の意識として、健康だとは感じているが、体力があるかないかは別の問題という側面が見えた。また、半数以上が日頃の運動不足を感じていると予測できる。

2. スポーツの実施状況について

スポーツ実施率（週 1 日以上スポーツを実施）については、51.0%であった。このうち、20 歳以上を抽出すると、33.7%であった。スポーツ庁が令和 4 年 12 月に実施した「スポーツの実施状況等に関する世論調査」によると、20 歳以上の週 1 日以上スポーツ実施率は 52.3 パーセントとなっており、七ヶ浜町民は、全国平均よりもスポーツ実施率がかなり低いと言える。

スポーツ実施の種目としては、「水泳」や「ウォーキング」が多く、一人でも気軽にできるスポーツが多い傾向である。スポーツ実施の理由については、「楽しみ・気晴らしとして」や「友人・仲間との交流として」が多く、「楽しむこと」を目的にスポーツをする方が多い。次いで「健康や体力の維持のため」に実施している方も多い。

スポーツをする場所については、「自宅及び周辺」が多い。町内のスポーツ施設の利用は町民プールが最も多いが、スポーツ施設利用には、利用料が生じるので手軽さを求めると自宅やその周辺が選びやすいと考えられる。スポーツの形態としては、個人で自由に実施する方が多い一方で、団体や教室に属して実施する方も比較的多い傾向にある。費用面については、「500 円未満」が最も多く、お金をかけないで、スポーツを実施している方が多い。次いで、1000 円～3000 円も多く、当クラブの教室の参加費が範囲内となり妥当と考えられる。

3. 今後について

今後やってみたい種目の上位は「ウォーキング」「水泳」「ヨガ」「バドミントン」「トレーニング」「ダンス」となった。一人でできるスポーツの人气が高く、他者に捉われずに自分のペースで実施できることが、スポーツ参加への動機づけになる。当クラブで教室を開催していないものに関しては、今後検討していく。

参加してみたいスポーツイベントについては、「誰でも楽しめるイベント」や「親子で楽しめるイベント」が多かった。町民を対象にしたイベントについては、内容を参考にして、企画立案していく。

当クラブの認知度に関しては、84.8%が「知っている」と回答を得た。小中学生を対象にしたこまめなチラシの配布やインスタグラム等での SNS での情報発信が知名度アップに繋がったと考えられる。

当クラブのスポーツ教室で参加してみたいものは、「水泳（小学生）」「バドミントン（小学生）」「トレッキング」の順で高く、実際の教室参加者数と比例していた。ここでも、個人競技の人気が高い結果が出た。

当クラブにあったらいいなと思うスポーツ教室に関しては、回答が様々で、スポーツの種類の高さと志向が多岐にわたっていた。「ダンス（子ども）」や「スケートボード」の意見が多く、流行のスポーツに人気があることがわかった。また、マリンスポーツ（サップ等）も、積極的に取り入れていくことで、海のそばにある総合型地域スポーツクラブとして、特色を生かし、より地域に根ざしたクラブを目指していく。

また、20歳以上のスポーツ実施率を上げるための改善策としては、お金をあまりかけずに気軽に取り組みやすいイベントや一人でも実施できるスポーツの提案を行っていくことが重要で、スポーツの実施率を上げることにより、健康で元気な町民が増えるように常にニーズに応えられるよう声を拾っていききたい。